

令和4年2月24日

## 業務完了報告書

鳴門教育大学教員教育国際協力センター

小澤 大成

### 1. 案件の概要

#### (1) 案件名

(和文) 令和3年度課題別研修仏語圏アフリカ「理科分野における教授法改善指導者養成」  
(2020年度研修員再遠隔)

(英文) Leadership Training on Improvement of Teaching Method for Science Education for Francophone Countries in Africa

(2) 研修期間 令和4年1月17日～令和4年2月4日

(3) 研修員数 14人

### 2. 研修内容

(1) 案件全体概念図

(2) 単元目標毎のカリキュラム構成

(3) 日程表(単元目標と関連付けたもの)

### 3. 案件目標(アウトカム)と単元目標(アウトプット)の達成度

(1) 案件目標(アウトカム)

案件目標: 効果的な教員研修の実施に向けて、研修員の理科分野における教員研修・授業実践能力が向上する。

指標: 研修員の質疑応答および模擬授業・授業研究会の内容に基づき評価する。

達成度: 研修員の質疑応答や模擬授業に「よい理科授業」に必要な要素が含まれているか。また教員研修に関する要素が見られるか。

(2) 単元目標(アウトプット)

単元目標①: 各国、所属組織、個人の各段階において教員研修に係る課題を整理できる。

指標： 研修員が事前に作成したインセプションレポートの「課題」とその「問題点」に関する記述。4段階評価がB（やや優れている）以上。

単元目標②： 理科の授業実践の意義・ポイントを説明でき、理科の授業を立案・実施することができる。

指標： 研修員の質疑応答や模擬授業に「よい理科授業」に必要な観点が含まれているか。4段階評価でB（やや優れている）以上。

単元目標③： 理科分野の教授法改善にかかる研修手法を説明できる。

指標： 研修員の質疑応答に研修手法が取り上げられているか、また授業研究会に研修手法が活用されているか。4段階評価でB（やや優れている）以上。